

# 東北地方 1か月予報

(6月18日から7月17日までの天候見通し)

平成23年6月17日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

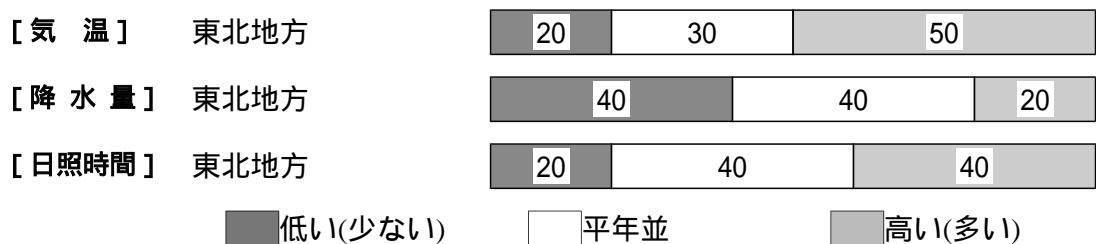
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとあります。

平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

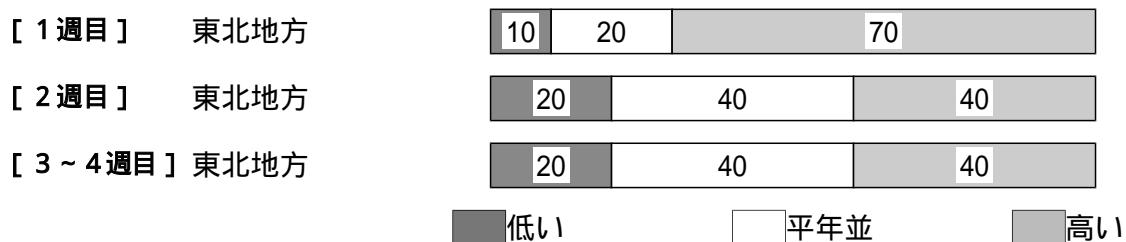
向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率70%です。2週目は、平年並または高い確率ともに40%です。3~4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



## <気温経過の各階級の確率(%)>



## <予報の対象期間>

1か月 : 6月18日(土) ~ 7月17日(日)

1週目 : 6月18日(土) ~ 6月24日(金)

2週目 : 6月25日(土) ~ 7月1日(金)

3~4週目 : 7月2日(土) ~ 7月15日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は6月24日

3か月予報：6月23日(木) 14時

## <参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	19.3	101.4	156.9	17.9	18.7	20.0
深浦	19.4	131.6	154.7	18.0	18.9	20.1
むつ	17.6	137.2	133.4	16.3	17.1	18.3
八戸	18.2	140.1	143.6	16.8	17.6	18.9
秋田	21.1	187.4	143.1	19.9	20.6	21.7
盛岡	20.1	174.2	123.5	18.9	19.5	20.7
大船渡	19.3	214.6	121.9	18.0	18.7	20.0
宮古	17.9	157.8	123.2	16.6	17.3	18.6
仙台	20.3	192.9	106.5	19.0	19.7	21.0
石巻	19.6	155.1	124.0	18.3	19.0	20.3
山形	21.6	163.0	123.8	20.3	21.0	22.3
新庄	20.7	194.7	118.6	19.5	20.2	21.3
酒田	21.5	201.0	142.5	20.2	20.9	22.1
福島	21.8	177.7	108.0	20.5	21.2	22.5
若松	21.8	181.2	131.3	20.6	21.2	22.5
白河	20.5	215.7	104.3	19.1	19.8	21.2
小名浜	20.3	175.4	122.7	18.9	19.7	21.1

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1981~2010年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4 ~ +0.5	92 ~ 114	90 ~ 105
東北日本海側	-0.4 ~ +0.5	90 ~ 115	90 ~ 105
東北太平洋側	-0.4 ~ +0.5	86 ~ 112	88 ~ 107

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7 ~ +0.8	-0.7 ~ +0.8	-0.4 ~ +0.7
東北日本海側	-0.7 ~ +0.8	-0.6 ~ +0.8	-0.4 ~ +0.6
東北太平洋側	-0.7 ~ +0.8	-0.8 ~ +0.9	-0.5 ~ +0.8

## <参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981~2010年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成23年6月17日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

### 向こう1か月（6月18日～7月17日）：

東北地方では平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

### 1週目（6月18日～6月24日）：

期間のはじめは高気圧に覆われて晴れる日がありますが、期間の中頃からは気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。

気温は、高い確率70%です。

### 2週目（6月25日～7月1日）：

東北地方では平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

### 3～4週目（7月2日～7月15日）：

東北地方では平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

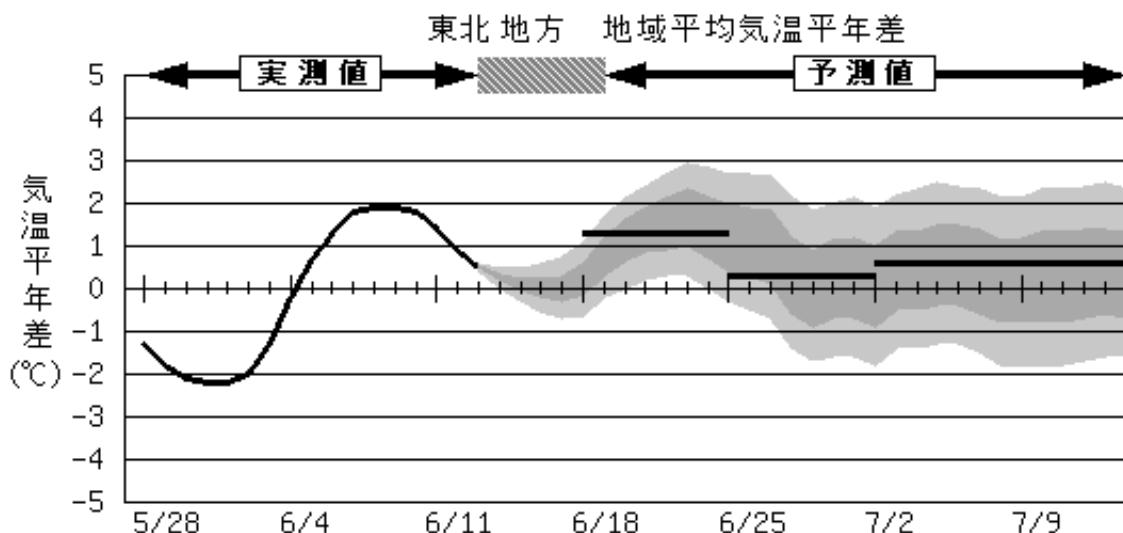
主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数（日）

青森	秋田	盛岡	仙台	山形	福島
晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
11.9	8.3	11.1	11.3	9.6	11.3
8.0	11.3	9.6	11.3	8.0	13.0
13.0	9.2	11.9	11.9	7.9	12.6

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目は平年を上回り、2週目、3～4週目は平年付近の予想となっている。



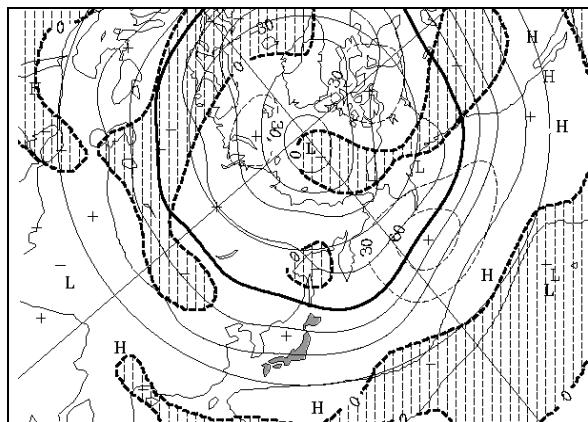
- グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅(濃い陰影の範囲)と、信頼の程度が70%の幅(濃い陰影と薄い陰影の範囲)を表示。
- 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3～4週目の平均を表す。
- ハッチの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

### 3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

**1か月平均:** 日本付近は正偏差に覆われ、東北地方は高温が予想される。地上天気図(図略)では、梅雨前線に相当する帶状降水域が東北地方まで北上するが、前線の活動は弱く降水量は少ない傾向。

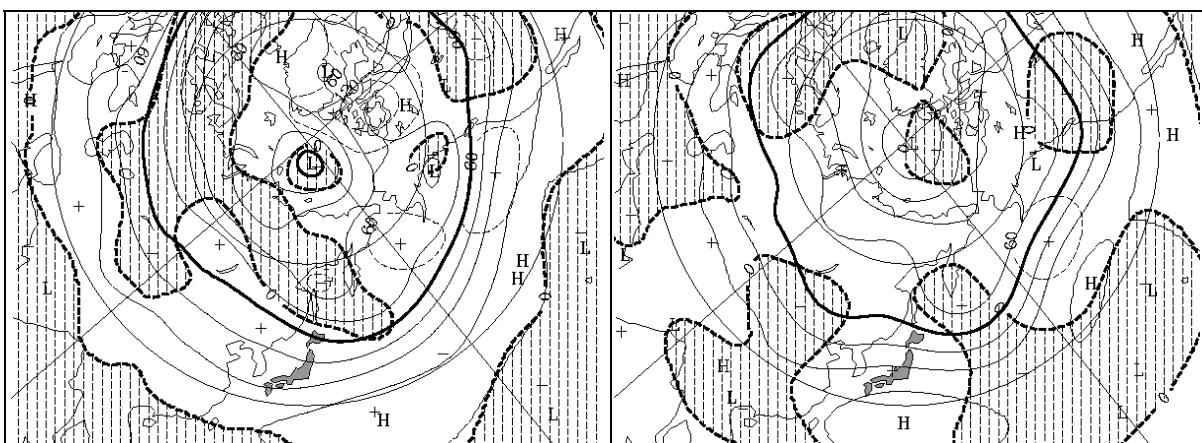
**1週目:** 日本付近は広く正偏差に覆われる。日本の南の亜熱帯高気圧は引き続き強く、その東西軸は最近1週間よりやや北上する。東北地方は南からの暖かい空気が入り、高温が見込まれる。

**2週目:** 日本付近は引き続き正偏差に覆われる。日本の南の亜熱帯高気圧はさらに北上し梅雨前線を押し上げるが、前線の活動は弱まり降水量は少ない見込み。東北地方は南からの暖かい空気が入り、高温傾向が予想される。



1か月平均 500hPa 予想天気図

図の見方は1, 2週目と同じ。ただし偏差の間隔は30m。



1週目平均 500hPa 予想天気図

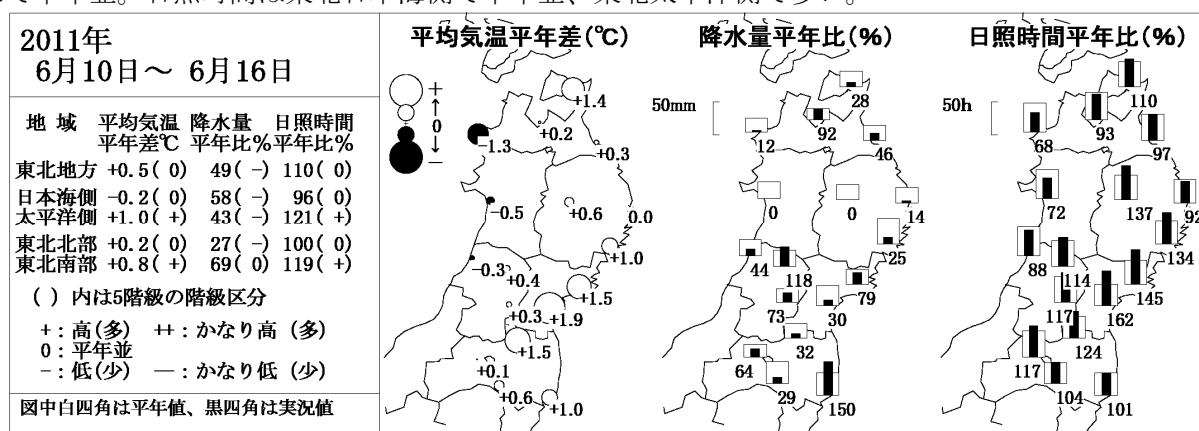
2週目平均 500hPa 予想天気図

実線は等高度線(間隔 60m)、点線は偏差(間隔 60m)。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

### 4. 最近1週間（6月10日～6月16日）の天候の経過

この期間、高気圧と気圧の谷が交互に通過し天気は周期的に変わった。梅雨前線の影響は小さく降水量は少なかった。14日は寒気を伴った気圧の谷が通過したため、福島県で大雨となったところがあった。

平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で高い。降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)